

令和4年4月28日

赤穂市長 様

赤穂市立野外活動センター赤穂市指定管理者
神姫バスグループ共同事業体
代表団体 神姫トラスポート株式会社
代表取締役 切原 慎治



令和3年度 赤穂市立野外活動センターの事業報告について

赤穂市立野外活動センター指定管理者管理運営基準4-(2)-イの規定に基づき、令和3年度管理委託に係る事業について、別紙のとおり報告いたします。



1. 令和3年度 野外活動センター利用状況

区分		件数	利用者数		使用料徴収額	
			実人数	延人数	施設使用料	実費弁償料
市内	幼児	9 件	143 人	192 人	0	19,730
	小学生	42 件	632 人	1,090 人	0	310,560
	中学生	1 件	27 人	41 人	0	12,130
	高校生	3 件	33 人	43 人	0	280
	一般	558 件	2,416 人	3,232 人	0	18,970
	小計	613 件	3,251 人	4,598 人	0	361,670
市外	幼児	7 件	39 人	78 人	8,810	180
	小学生	26 件	145 人	280 人	28,360	1,020
	中学生	1 件	6 人	6 人	600	0
	高校生	0 件	0 人	0 人	0	0
	一般	581 件	1,853 人	3,411 人	269,770	2,060
	小計	615 件	2,043 人	3,775 人	307,540	3,260
合計		1,228 件	5,294 人	8,373 人	307,540	364,930

2. 管理業務の利用状況 (人数・件数)

		利用者人数・区分(実数)					合計	延人数		合計	件数		合計
		幼児	小学生	中学生	高校生	一般		市内	市外		市内	市外	
4月	令和3年	55	116	11	2	765	949	771	406	1,177	196	113	309
	令和2年	44	58	21	15	598	736	563	183	746	194	73	267
	増減	11	58	-10	-13	167	213	208	223	431	2	40	42
5月	令和3年	22	39	0	6	147	214	232	96	328	32	19	51
	令和2年	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	増減	22	39	0	6	147	214	232	96	328	32	19	51
6月	令和3年	19	25	0	1	171	216	203	181	384	34	32	66
	令和2年	19	48	6	4	160	237	245	75	320	18	9	27
	増減	0	-23	-6	-3	11	-21	-42	106	64	16	23	39
7月	令和3年	32	78	8	10	233	361	328	319	647	43	39	82
	令和2年	21	65	6	2	194	288	303	58	361	19	4	23
	増減	11	13	2	8	39	73	25	261	286	24	35	59
8月	令和3年	64	142	18	17	390	831	716	349	1,065	52	47	99
	令和2年	28	98	16	29	197	368	375	110	485	28	6	34
	増減	36	44	2	-12	193	263	341	239	580	24	41	65
9月	令和3年	25	38	8	0	203	274	191	297	488	45	42	87
	令和2年	14	65	9	2	192	282	340	54	394	21	8	29
	増減	11	-27	-1	-2	11	-8	-149	243	94	24	34	58
上期計	令和3年	217	438	45	36	1,909	2,645	2,441	1,648	4,089	402	292	694
	令和2年	126	334	58	52	1,341	1,911	1,826	480	2,306	280	100	380
	増減	91	104	-13	-16	568	734	615	1,168	1,783	122	192	314
10月	令和3年	47	92	21	4	384	548	519	354	873	61	53	114
	令和2年	25	113	0	0	205	343	414	44	458	20	5	25
	増減	22	-21	21	4	179	205	105	310	415	41	48	89
11月	令和3年	53	108	12	4	365	542	516	393	909	45	59	104
	令和2年	37	136	10	3	221	407	411	302	713	23	13	36
	増減	16	-28	2	1	144	135	105	91	196	22	46	68
12月	令和3年	14	14	3	0	170	201	101	283	384	20	50	70
	令和2年	19	11	2	34	90	156	122	190	312	13	8	21
	増減	-5	3	1	-34	80	45	-21	93	72	7	42	49
1月	令和3年	23	57	21	21	531	653	533	314	847	19	51	70
	令和2年	15	26	21	20	416	498	495	74	569	13	15	28
	増減	8	31	0	1	115	155	38	240	278	6	36	42
2月	令和3年	13	18	4	2	189	226	137	283	420	27	45	72
	令和2年	14	20	0	1	166	201	120	236	356	19	32	51
	増減	-1	-2	4	1	23	25	17	47	64	8	13	21
3月	令和3年	41	77	10	6	345	479	351	500	851	39	65	104
	令和2年	38	95	11	1	281	426	451	212	663	45	32	77
	増減	3	-18	-1	5	64	53	-100	288	188	-6	33	27
下期計	令和3年	191	366	71	37	1,984	2,649	2,157	2,127	4,284	211	323	534
	令和2年	148	401	44	59	1,379	2,031	2,013	1,058	3,071	133	105	238
	増減	43	-35	27	-22	605	618	144	1,069	1,213	78	218	296
合計	令和3年	408	804	116	73	3,893	5,294	4,598	3,775	8,373	613	615	1,228
	令和2年	274	735	102	111	2,720	3,942	3,839	1,538	5,377	413	205	618
	増減	134	69	14	-38	1,173	1,352	759	2,237	2,996	200	410	610

3. 利用の料金の収入実績

		施設使用料	実費弁償料	小計	自主事業収入	総計
4月	令和3年度	24,560	73,980	98,540	182,497	281,037
	令和2年度	1,230	0	1,230	28,200	29,430
	増減	23,330	73,980	97,310	154,297	251,607
5月	令和3年度	10,770	500	11,270	158,168	169,438
	令和2年度	0	0	0	0	0
	増減	10,770	500	11,270	158,168	169,438
6月	令和3年度	17,480	460	17,940	288,119	306,059
	令和2年度	10,730	13,160	23,890	55,000	78,890
	増減	6,750	-12,700	-5,950	233,119	227,169
7月	令和3年度	27,340	16,320	43,660	477,330	520,990
	令和2年度	7,730	37,040	44,770	53,700	98,470
	増減	19,610	-20,720	-1,110	423,630	422,520
8月	令和3年度	9,410	153,390	162,800	919,761	1,082,561
	令和2年度	14,560	58,360	72,920	77,500	150,420
	増減	-5,150	95,030	89,880	842,261	932,141
9月	令和3年度	16,580	1,210	17,790	461,982	479,772
	令和2年度	7,350	41,760	49,110	63,750	112,860
	増減	9,230	-40,550	-31,320	398,232	366,912
上期計	令和3年度	106,140	245,860	352,000	2,487,857	2,839,857
	令和2年度	41,600	150,320	191,920	278,150	470,070
	増減	64,540	95,540	160,080	2,209,707	2,369,787
10月	令和3年度	31,570	32,710	64,280	496,981	561,261
	令和2年度	6,620	34,510	41,130	95,250	136,380
	増減	24,950	-1,800	23,150	401,731	424,881
11月	令和3年度	37,220	63,820	101,040	560,354	661,394
	令和2年度	50,080	77,500	127,580	67,700	195,280
	増減	-12,860	-13,680	-26,540	492,654	466,114
12月	令和3年度	26,160	80	26,240	269,447	295,687
	令和2年度	29,920	83,380	113,300	25,850	139,150
	増減	-3,760	-83,300	-87,060	243,597	156,537
1月	令和3年度	33,680	940	34,620	280,369	314,989
	令和2年度	9,630	630	10,260	43,000	53,260
	増減	24,050	310	24,360	237,369	261,729
2月	令和3年度	24,250	0	24,250	350,417	374,667
	令和2年度	32,770	40	32,810	111,750	144,560
	増減	-8,520	-40	-8,560	238,667	230,107
3月	令和3年度	48,520	21,520	70,040	572,036	642,076
	令和2年度	31,080	48,070	79,150	155,650	234,800
	増減	17,440	-26,550	-9,110	416,386	407,276
下期計	令和3年度	201,400	119,070	320,470	2,529,604	2,850,074
	令和2年度	160,100	244,130	404,230	499,200	903,430
	増減	41,300	-125,060	-83,760	2,030,404	1,946,644
合計	令和3年度	307,540	364,930	672,470	5,017,461	5,689,931
	令和2年度	201,700	394,450	596,150	777,350	1,373,500
	増減	105,840	-29,520	76,320	4,240,111	4,316,431

4. 管理業務に係る経費の収支状況

<収入>

項目	計画金額	実績金額	備考
指定管理料	9,600,000	9,600,000	
使用料収入等	1,480,000	672,470	/
自主事業収入	1,970,000	4,848,569	
その他収入	80,000	168,892	自動販売機手数料
還付	0	-60,450	自主事業還付
合計	13,130,000	15,229,481	

<支出>

項目	計画金額	実績金額	備考	
人件費	給与・賞与	5,765,500	5,146,219	
	法定福利費	274,000	144,882	
	厚生福利費	70,000	58,235	
	小計	6,109,500	5,349,336	/
事務費	消耗品費	530,000	799,246	
	図書印刷費	30,000	52,580	
	通信運搬費	297,000	392,991	
	宣伝広告費	60,000	151,250	
	教育実習費	25,000	2,720	
小計	942,000	1,398,787	/	
管理費	委託費	535,000	757,672	
	旅費	220,000	181,994	
	水光熱費		737,607	電気代
			233,979	水道代
			30,211	ガス代
	修繕費	400,000	290,734	
	燃料油脂費	100,000	164,321	
	諸施設使用料	42,000	49,154	
	被服費	100,000	139,855	
	諸手数料	0	14,800	
	その他経費	1,935,200	3,309,729	自主事業開催経費含
	租税公課	750,000	548,797	清算課税費込(544,797円)
	小計	5,017,200	6,458,853	/
事業費	保険料	100,000	94,996	
	一般管理費	879,000	1,927,509	
	小計	979,000	2,022,505	/
合計	13,047,700	15,229,481	/	

5. 自主事業にかかる経費の収支状況

<収入>

項目	金額	備考
ドームテント設置・運営事業	3,181,319	
バーベキュー・牡蠣食材販売事業	833,900	
アウトドア・バーベキュー用具等提供事業	185,600	
バーベキュー用具等物品販売事業	189,950	
自動販売機設置手数料	168,892	
その他事業	457,800	
還付	-60,450	ドームテント分
合計	4,957,011	/

<支出>

項目	金額	備考
ドームテント設置・運営事業	2,557,710	
バーベキュー・牡蠣食材販売事業	463,786	
バーベキュー用具等物品販売事業	165,900	
その他事業	0	施設管理備用品費に含む
合計	3,187,396	/

収入	4,957,011
支出	3,187,396
差額	1,769,615

6. 管理業務等の実施状況

(1) はじめに

令和3年度の主な取り組みは、昨今のアウトドアシーンのブームである『グランピング』を当施設内に設置し、これまで当施設を利用したことのない利用者層の開拓や、新たな施設の姿を目指して運営してまいりました。

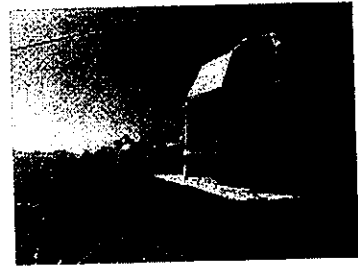
また新型コロナウイルス感染症の拡大を受け、国内のキャンプブームが当施設にも影響し、多くのキャンパーが来場することになり、施設の利用件数の飛躍的な向上を図ることができました。

①新たな施設の姿 ～ドームテントの設置～

昨今のアウトドアシーンを大きく変えたグランピング施設を、令和3年3月に設置、同4月より運営を開始しました。

新聞やアウトドア専門雑誌及び専門サイト等による宣伝広告を行い、設置計画時予測の年間120棟を大きく上回る324棟の利用があり、延べ1,003名の方にご宿泊いただきました（下表利用状況参照）。

利用の多くは県内からの来場者でしたが、遠くは福岡県や東京都など、これまで当施設に来場のなかった地域からの来場もあり、施設の認知度の向上にも寄与する取り組みとなりました。



【ドームテント利用状況】 ※稼働率=利用棟数÷月間利用可能棟数

月	利用件数	宿泊者数	利用棟数	稼働率(%)
4月	2	8	2	10.0
5月	9	28	9	14.5
6月	16	60	18	30.0
7月	29	96	30	48.4
8月	48	182	53	85.5
9月	32	92	36	60.0
10月	31	106	33	53.2
11月	38	114	38	63.3
12月	22	66	22	44.0
1月	17	56	19	36.5
2月	23	83	24	44.4
3月	40	112	40	66.7
合計	307	1,003	324	48.8

②施設の設置目的にあった利用 ～キャンプ利用の増加～

昨年度末頃より増加傾向にあったキャンプ利用が、キャンプブームも相まって急増しました。

利用増加の背景としては、キャンプブームのほか、新型コロナウイルス感染症拡大により市内のキャンプ施設が数か月間閉鎖となり、その利用者が当施設を利用するようになり、かつリピーターとして複数回利用した結果、統計上最高の利用件数（年間 562 件）となりました。

いずれの利用者様も『施設内がきれい』『整備が行き届いている』『職員の対応が良い』といった、管理運営に関しての好意見をいただいております、今後の利用増加が見込まれる結果となりました。

【直近3カ年のキャンプ利用件数】

年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
件数	65	215	562

(2) 施設の利用状況について

昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の拡大により、団体利用が激減し、管理棟の利用や大人数での利用が減少する結果となりました。

その反面、キャンプ利用の増加や、今年度新たに運営開始したドームテントの利用が当初の想定を上回ることとなり、年間通して賑わいのある施設となりました。

そのため、令和2年度より利用件数は倍増したものの、利用人数はその増加率に比例しておらず、小規模利用が顕著な一年となりました（下表参照）。

【直近3カ年の利用件数及び利用人数】

年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
件数	732	618	1,228
人数	10,132	5,377	8,373

(3) 安全対策と緊急時の対応

『安全は全てに優先する』という安全に関する基本理念のもと、施設内の日常的な巡視方法や手順を再確認し、施設・設備の危険箇所や異常箇所の発見、及び不審者の有無についてもチェックを行い、速やかな対応処置により危険を排除して安全確保に努めました。

- ・『危機管理マニュアル』を再確認し、災害発生時の対応、避難経路等をスタッフ及び利用者への周知徹底を図っています。
- ・管理棟前手摺の塗装劣化による裂傷を防ぐための再塗装作業や、同箇所転落防止網の交換作業、芝生広場・フレッシュ広場の防護柵の補修等、利用者の安全に配慮した施設管理を行いました。

【安全管理・危機管理に関する基本事項】

事故防止

- ・日常の巡回巡視による危険箇所のチェックと改善の実施
- ・専門業者による定期点検と施設責任者による最終確認
- ・利用者への注意喚起

衛生管理

- ・食品衛生責任者による、毎日の厨房管理や食器類の衛生管理
- ・消毒液・マスクの常備
- ・感染症予防の対応
- ・スタッフによる巡回中の清掃

(4) 利用者ニーズの把握について

全利用者様に対しアンケート調査を行ったうえ、スタッフによる声掛けや施設ホームページに意見聴取のページを設け、多方面よりニーズの把握に努めました。

(5) 施設運営ルールの再徹底

○施設設置条例・協定書等の理解

利用者に対して施設の利用条件や利用の案内を適切に行うために、本社スタッフも含めて施設設置条例・指定管理者基本協定書を理解するためのミーティングを実施したことに加え、利用案内・接遇に関する職場内研修を実施しました。

また次年度に新たな管理期間を迎えるにあたり、事業計画書内容の説明や運用方法、課題や問題点を洗い出し、スムーズな計画実施に向けてミーティングを行いました。

(6) 施設維持管理について

令和3年度に実施した主要な維持管理と修理内容は次の通りです。

令和3年4月～令和3年 10月の期間の月1回	業務内容：環境衛生管理業務（害虫駆除薬剤散布） 実施場所：厨房、談話室、事務所、トイレ、倉庫、機械室 実施者：山陽アメニティサービス株式会社
令和3年4月9日、15日 (計2日)	業務内容：テーブル天板取替 実施場所：フレッシュ広場 実施者：施設職員
令和3年5月8日、13日 19日(計3日)	業務内容：夜間照明（ソーラーライト）設置 実施場所：フレッシュ広場 実施者：施設職員
令和3年5月10日	業務内容：消防設備総合点検（総合点検） 実施場所：管理棟内消防設備 実施者：山陽アメニティサービス株式会社
令和3年5月17日	業務内容：落下防止手摺り補修 実施場所：フレッシュ広場 実施者：施設職員
令和3年6月10日、13日 (計2日)	業務内容：ドアノブ改修（取替・鍵補修） 実施場所：ボイラー室通用口ドア 実施者：施設職員
令和3年9月11日	業務内容：ゲート蝶番補修 実施場所：芝生広場 実施者：市内鉄工所
令和3年10月1日、6日 (計2日)	業務内容：ドッグランスペース開設 実施場所：トリム広場 実施者：施設職員
令和3年10月1日、6日 (計2日)	業務内容：ドッグランスペース専用洗い場設置 実施場所：かまど広場 実施者：施設職員
令和3年10月14日	業務内容：ドアノブ改修（取替） 実施場所：女子シャワー室 実施者：施設職員
令和3年11月8日	業務内容：消防設備総合点検（任意点検） 実施場所：管理棟内消防設備 実施者：山陽アメニティサービス株式会社

令和3年11月8日	業務内容：電気設備点検（任意点検） 実施場所：管理棟内電気設備 実施者：山陽アメニティサービス株式会社
令和3年11月8日	業務内容：ボイラー設備点検（任意点検） 実施場所：管理棟内ボイラー設備 実施者：山陽アメニティサービス株式会社
令和3年12月17日	業務内容：ウッドデッキ補修 実施場所：展望台横ウッドデッキ 実施者：施設職員
令和3年12月24日	業務内容：スロープクッション材取付 実施場所：談話室内スロープ 実施者：施設職員
令和4年2月17日	業務内容：キャンプ区画表示板設置 実施場所：芝生広場 実施者：施設職員

(7) 自主事業について

①物品販売事業（バーベキュー食材・用品提供・ゴミ袋販売）

実施概要：利用者の利便性向上のため、バーベキュー食材や地元産牡蠣の販売（取次）の実施、バーベキュー用品のレンタルを行いました。

実施期間：令和2年4月1日～令和3年3月31日

販売実績：バーベキュー食材	833,900円
【内訳】一般販売食材	246,000円
ドームテント食材	519,000円
牡蠣販売	68,900円
用品レンタル	185,600円
用品販売	189,950円
その他販売・レンタル	457,800円
【内訳】ウッドデッキ	296,500円
ゴミ袋販売	39,500円
焚火架台	121,800円

②ドームテント設置事業

実施概要：昨今の新たなアウトドアシーンで流行のグランピング施設を設置し、新規利用者層の開拓を図りました。

実施期間：令和3年4月2日～令和3年3月31日

利用実績：利用件数	307棟
利用棟数	324棟
利用人数	1,003名
利用料収入	3,181,319円

③元旦施設無料開放（初日の出観覧会）

実施概要：毎年実施している元旦の初日の出観覧会を実施（施設無料開放）。コロナ禍の中、例年以上の方にご来場いただきました。

実施日：令和3年1月1日 午前6時30分～午前8時

来場者：約400名

④自動販売機設置

実施概要：来場者の利便性向上のため、玄関前に飲料水及びアイスクリームの自動販売機を設置しました。

実施期間：令和3年4月1日～令和4年3月31日

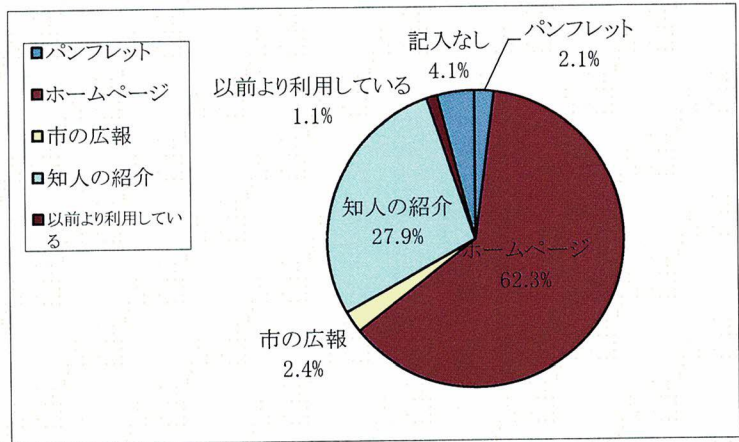
販売実績：168,892円（手数料収入）

令和3年度 赤穂市立野外活動センター 利用者アンケート集計

◇何でお知りになりましたか

1	パンフレット	13
2	ホームページ	384
3	市の広報	15
4	知人の紹介	172
5	以前より利用している	7
6	記入なし	25

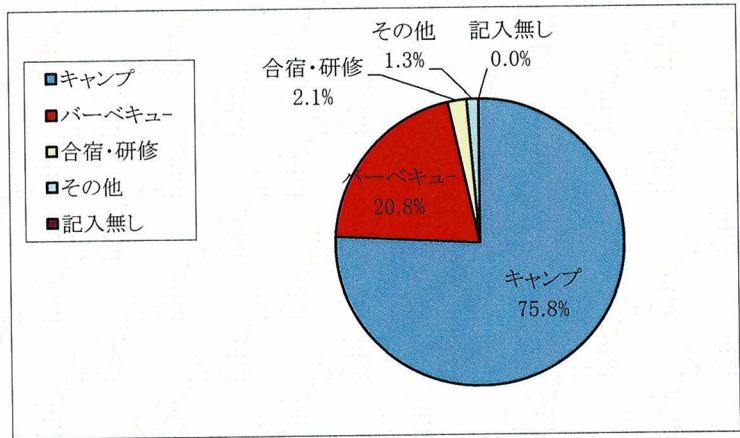
合計 616



◇当施設の使用目的は

1	キャンプ	467
2	バーベキュー	128
3	合宿・研修	13
4	その他	8
5	記入無し	0

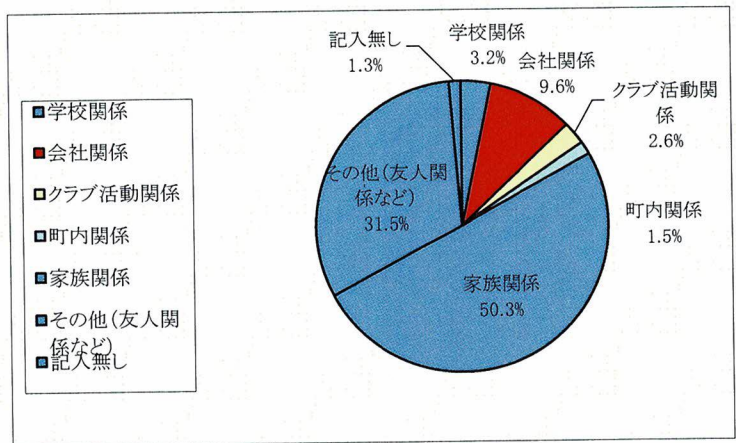
合計 616



◇使用された団体・グループは

1	学校関係	20
2	会社関係	59
3	クラブ活動関係	16
4	町内関係	9
5	家族関係	310
6	その他(友人関係など)	194
7	記入無し	8

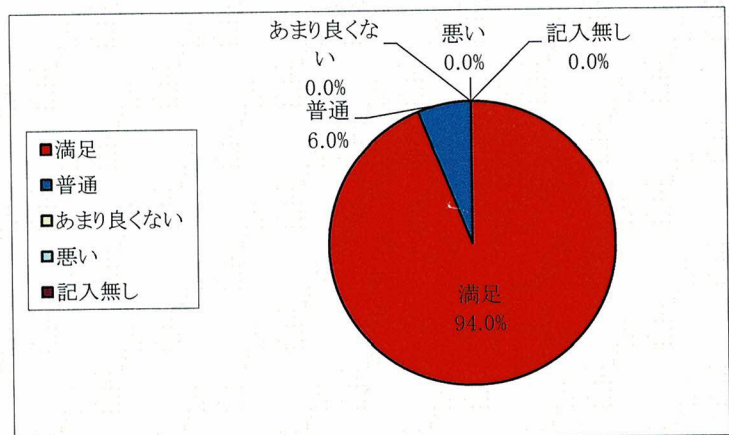
合計 616



◇施設及び用具関係は利用していかがでしたか

1	満足	579
2	普通	37
3	あまり良くない	0
4	悪い	0
5	記入無し	0

合計 616

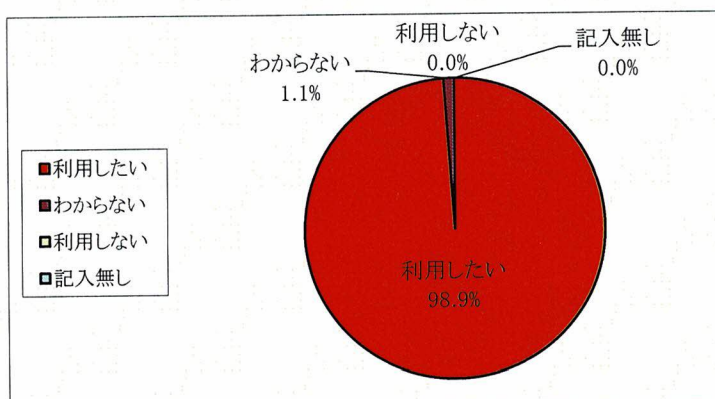


令和3年度 赤穂市立野外活動センター 利用者アンケート集計

◇また利用したいと思いますか

1	利用したい	609
2	わからない	7
3	利用しない	0
4	記入無し	0

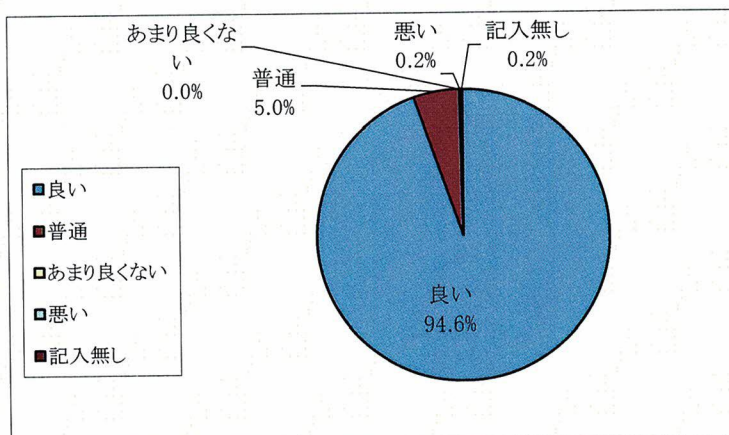
合計 616



◇職員の対応はいかがでしたか

1	良い	583
2	普通	31
3	あまり良くない	0
4	悪い	1
5	記入無し	1

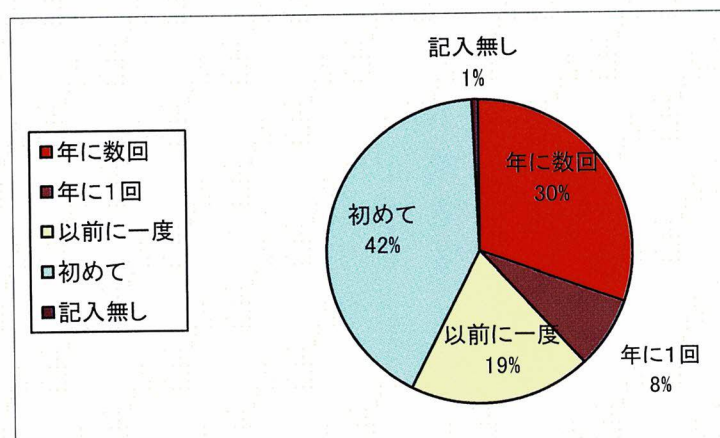
合計 616



◇施設の利用回数について

1	年に数回	188
2	年に1回	47
3	以前に一度	119
4	初めて	258
5	記入無し	4

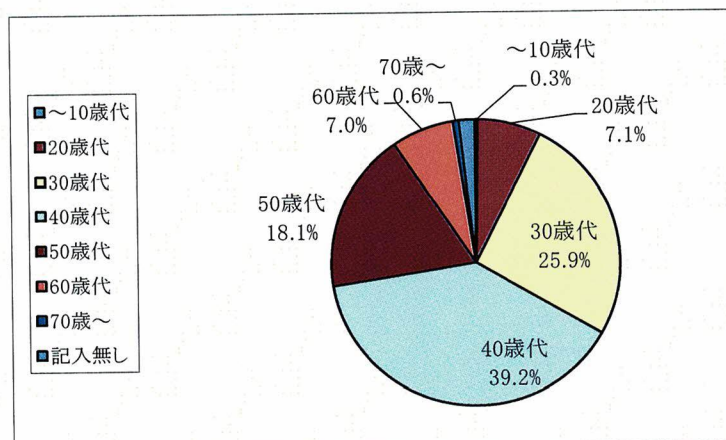
合計 616



☆年齢層 (アンケート回答者)

1	～10歳代	2
2	20歳代	44
3	30歳代	160
4	40歳代	242
5	50歳代	112
6	60歳代	43
7	70歳～	4
8	記入無し	11

合計 618



令和3年度 赤穂市立野外活動センター 利用者アンケート集計

☆ご意見、ご感想

1 管理が行き届き大変きれい	5
2 海がきれいに見えてよかった	4
3 職員がとても親切でよかった、対応がよい	14
4 リピートNo,1です	3
5 トイレがきれいで気に入りました	6
6 料金がリーズナブルでよかった	4
7 焚火台の架台をもっと増やしてほしい	3
8 家族みんなが気に入っています、これからも利用します。	1
9 景色がとにかくいい	2
10 とても利用しやすくていい	
11 いつ来てもきれいで大変良い	10
12 眺めがよく芝生はきれいで文句なし	15
13 リピーターになります	3

☆施設への要望

1 来場時の受付をスムーズにしてほしい	1
2 インターネット予約にしてほしい	2
3 トイレの壁をきれいにしてほしい	1
4 料金安すぎてマナーの悪い人が増えるのが嫌	2
5 料金を県外1,000円県内500円にすればいい	1
6 キャンプサイトの明かりが真っ暗、もう少し明かりが欲しい	1
7 マナーの悪い利用者がいるもう少し厳しくしてはどうか	2
8 荷物運搬のキャリアカーを増やしてほしい	1

☆初めての来場者のご意見、ご感想、ご要望。

- 1 車椅子利用可能なバリアフリーを望みます。
- 2 HP予約状況表のこまめな更新をして欲しい。
- 3 無料送迎バスが欲しい。
- 4 女子トイレのグレードアップ。(屋外女子トイレに鏡の設置を)
- 5 虫のいないトイレにして欲しい。
- 6 キャンプ場利用者でない方が柵を乗り越えて中に入ってこられて非常に怖かった
(立入禁止の看板があればいい)
- 7 団体利用者の子供が走り回りテントにぶつかったり荷物の周りを走り回っていた
(親は何の注意もしない)

1 評価対象施設

公の施設の名称	赤穂市立野外活動センター			
所在地	赤穂市御崎708番地1			
指定管理者	団体名： 神姫バスグループ共同事業体	指定期間	開始日	令和3年4月1日
	所在地： 姫路市花田町一本松字牛塚1-1		終了日	令和6年3月31日
選定方法	公募・非公募		評価実施年	指定期間3年のうち1年目
施設設置目的	市民の健康づくりに寄与し、青少年の体力向上と情操の涵養を図り、自然に親しむ野外活動を普及振興する。			
主な実施事業	アウトドア用品レンタル事業、バーベキュー食材販売事業、アウトドアイベント開催等			

2 利用状況（目標と実績）

成果指標	単位	R3目標	R3実績	R4目標	R4実績	R5目標	R5実績
a	利用件数（市内）	370	614	390		410	
	利用件数（市外）	214	614	235		260	
b	実利用者数（市内）	6,200	3,257	6,630		7,100	
	実利用者数（市外）	2,640	2,037	2,830		3,030	
c	延利用者数（市内）	7,000	4,604	7,480		8,010	
	延利用者数（市外）	3,000	3,769	3,210		3,440	
d	施設使用料（市内）	0	0	0		0	
	施設使用料（市外）	380,000	307,540	394,000		410,000	
e	実費弁償料（市内）	450,000	361,670	465,000		480,000	
	実費弁償料（市外）	650,000	3,260	665,000		680,000	

3 指定管理業務にかかる収支状況

区分		R3年度決算	R4年度予算	R5年度予算	
収入計	A	15,229,481	13,289,000	13,493,500	
	指定管理料	9,600,000	9,600,000	9,600,000	
	利用料収入	C	672,470	1,524,000	1,570,000
	自主事業収入		5,017,461	2,165,000	2,323,500
	その他		-60,450	0	0
支出計	B	15,229,481	12,828,500	13,059,200	
	事業費		12,042,085	11,323,300	
	内、人件費	D	5,349,336	6,255,300	6,401,000
	内、再委託料	E	757,672	535,000	535,000
自主事業費		3,187,396	1,505,200	1,505,200	
事業収入	A-B	0	460,500	434,300	
利用料比率	C/A	4.4%	11.5%	11.6%	
人件費率	D/B	35.1%	48.8%	49.0%	
再委託費比率	E/B	5.0%	4.2%	4.1%	

- ・ 支出欄「D・E」は代表的な内訳を取り上げているため合計額とはならない。
- ・ 事業費は、該当年度及び過年度決算を記入する。また、右欄には、次年度予算を記載する。

補足説明	
------	--

4 事業評価

評価区分	評価項目	自己評価	所轄評価	
① サービスの履行	人員体制	事業計画に即し、人員を過不足なく配置している。	B	B
		必要な資格、経験を有する人員が確保されている。	B	B
		事業計画に即し、計画的に研修等を実施している。	C	C
	第三者への委託	外部委託の内容は、事前に市の承認を受けており適切である。	B	B
		外部委託業者に対して協定書等を遵守しているか。	B	B
	法令順守等	法令・条例に基づき、必要な点検、報告等を行っているか。	B	B
	個人情報保護	個人情報保護に関する法令を遵守しているか。	B	B
		個人情報の漏洩、滅失等の事故防止対策を講じているか。	B	B
	情報公開	情報公開に関する法令や条例に準拠した運用がなされているか。	B	B
		協定書等に従い、情報を適切に管理し、公表している。	B	B
	管理記録	業務日誌等を適切に整備、保管している。	B	B
		点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	B	B
	連絡調整	協定書等に従い、各種報告書を市に提出している。	B	B
		市との連絡調整を適切に行い、情報の共有が図れている。	B	B
緊急対応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が整備されている。	B	B	
	緊急時のマニュアルが整備され、定期的に訓練を行っている。	B	B	
	緊急時又は危険予測時、直ちに措置を講じ、市に報告を行った。	B	B	
財務状況	指定管理者の財務状況は、業務の継続が可能な状態である。	B	B	
総括	[業務の実施体制]に関する評価【標準18項目/本施設18項目】	B	B	
② サービスの質	施設管理	協定書等に従い、閉館日、閉館時間等を遵守している。	B	B
		事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じている。	A	A
	利用者対応	利用許可、利用料金の徴収、減免、還付等の受付業務を適切に行っている。	B	B
		利用者に対して設備、備品等を適切に提供している。	B	B
	事業運営	言葉使い、態度、服装等接遇が適切である。	B	B
		事業計画に即し、必須事業を実施している。	B	B
	維持管理	施設の目的に沿った自主事業を実施している。	B	B
		事業内容がサービス水準の向上に寄与している。	B	B
	環境配慮	仕様書等に従い、野外活動センターの維持管理を適切に行っている。	B	B
		仕様書等に従い、野外活動センターの施設や設備の保守管理を行っている。	B	B
		備品台帳に基づき、備品を適切に管理している。	B	B
		協定書等に従い、適切に修繕を行っている。	B	B
	広報活動	省エネルギー、省資源等環境への配慮がなされている。	B	B
	苦情等対応	事業の開催案内、ホームページの管理等を適切に行っている。	B	B
要望、苦情等に対して迅速かつ適切に対応している。		B	B	
事業評価	要望、苦情等を整理し、遅延なく市に報告している。	B	B	
	利用者アンケート調査を実施し、その結果を利用者等に公表している。	B	B	
提案事項	利用者の利便性向上を図るため、自己評価を実施し、利用者等に公表している。	B	B	
利用状況	指定管理者の提案事項については、市と協議し、提案のとおり実施している。	A	A	
総括	利用者数、稼働率等は、目標に対し妥当な水準である。	B	B	
総括	「業務の内容・水準」に関する評価【標準20項目/本施設20項目】	B	B	
③ 安定性	経理事務	専用口座等を備え適切に経理事務を行っている。	B	B
	予算執行	収支予算書の範囲内で適正に予算を執行している。	B	B
	経費縮減	経費が縮減され、又は縮減に向けた努力を行っている。	B	B
	収支状況	収支予算書と比較して、収支状況は妥当である。	B	B
総括	「経費の収支等」に関する評価【標準4項目/本施設4項目】	B	B	

所見 <small>(成果・課題等)</small>	【自己評価】 今年度新たに開始したドームテントが想定を上回る利用をいただき、6月以降30%以上の稼働率となり、初年度においては成功と言える結果となった。 コロナ禍によるキャンプブームも重なり、年間利用件数の半分以上がキャンプ利用となり、今後も同様の状態が予想されることから、施設の利用率向上が見込まれる。 上記の利用が増加したことにより、屋外施設管理（植栽管理等）の作業可能時間が減少したことにより、これまで実施していた年間計画を見直すこととなった。 次年度以降は利用者様へ安全・快適を提供できるよう、月に複数日間は一部利用制限を行い、重点的に施設管理作業を行う日程を確保し、管理にあたる計画としている。		
	【所管評価】 令和3年度より新たに指定管理を受託するにあたって取組みを行ったドームテントが好評を博しており、利用者の拡大や市の魅力発信に貢献している。 今後も引き続き感染防止対策を十分に行ったうえで、サービスの充実を図られたい。		
前年評価	B	総合評価	B

* 評価基準

自己評価・所管評価	A	優良	基協定書、仕様書、事業計画書等を遵守し、要求水準より優れている。
	B	良好	協定書等を遵守し、要求水準を概ね満たしている。
	C	要改善	協定書等に定める要求水準を下まわっており、改善が必要と認められる。
総括	A	優良	評価基準項目が全てB以上であり、かつAが過半数である。
	B	良好	優良、要改善以外の評価
	C	要改善	評価基準にCが1割以上含まれる。
総合評価	A	優良	自己評価、所轄評価の「総括」にCが含まれず、かつAが過半数以上ある。
	B	良好	優良、要改善以外の評価
	C	要改善	自己評価、所轄評価の「総括」にCが2つ以上含まれる。